

市民参加の市政づくりを！

# 市政懇談会

ぎ荘で開かれ、24人が出席。「JRバス車庫跡地の利用等について」や「国道294号線の整備について」などの意見が出されました。

1月29日(金)には、七合地区自治会連合会 駒場不二夫会長の懇談会が烏山城カントリークラブで開かれ、各自治会長15人が出席し、「烏山八景句碑の活用について」や「里山林整備事業について」などが質問されました。

それぞれの要望に対し、大谷市長が一つひとつ丁寧に説明を行いました。

また、2月19日(金)には、境地区の市政懇談会が行われる予定となっています。

12月から2月にかけて、市内各地区で「市政懇談会」が開かれ、大谷範雄市長や國井豊副市長、田代和義教育長、各課長のほか各自治会の住民が参加しました。この市政懇談会は、地域住民の様々な意見を市政に反映させる市民参加の場として自治会により開いているものです。また、今年度は、福岡と金井の2地区が初開催となりました。



市政について要望などが出された市政懇談会(福岡自治会より)。

## まちなか元気ワークショップin那須烏山市 隠れた魅力を発見！地域の課題を住民で共有

県内16市町で構成される栃木県まちなか元気会議では、10月24日(木)、12月19日(日)、1月16日(土)の3日間にかけて、本市を会場とし、「まちなか元気ワークショップin那須烏山市」を開きました。

これは、人口減少が進む中、市民によるまちなかづくりを推進するため、ワークショップを通して会議構成市町の中心市街地活性化に繋げようと県が行っている事業です。

3日間では、地域住民を中心に各回約30人が参加。初日には、(株)マツクリラボラトリー代表取締役の村瀬正尊さんを講師に「人口が減少していくとどのような現象が起きるのか」をテーマとした講話が行われ、中心市街地について

感じていることの情報共有が行われました。その後は、JR烏山駅周辺のまちなか探索や企画の提案などが行われ、本市の現状や課題を議論しました。

参加者からは、「隠れた魅力が発見できた」、「空き家や空き店舗が目立つ。活用すべき」、「自分たちがどうにかしたいといけない」などの意見が多く寄せられました。



上:JR烏山駅周辺を見学したまちなか探索。  
下:議論を深めたワークショップ。

## 子ども見守り隊防犯講習会

### 見守り隊員の意識高める

市教育委員会では、12月25日(金)、烏山公民館で「子ども見守り隊防犯講習会」を開きました。

当日は、見守り隊員約40人が参加。講演会では、平成17年12月に起きた今市事件の捜査を担当

した元県警刑事部長の高久均さん(現・北関東総合警備保障(株)取締役警備副本部長兼警備部長)を講師として招き、今市事件のこれまでの経過などを説明しました。

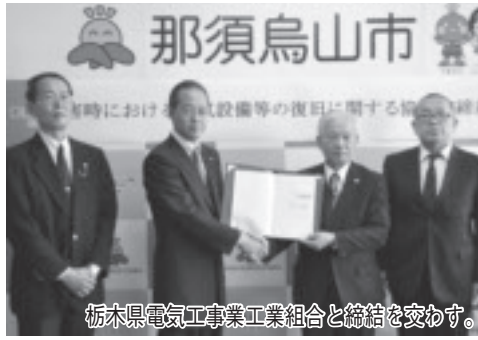
高久さんは、県警捜査第1課

の意見交換会では、参加者から「見守り隊と学校や教育委員会との連携をもっと密にしたい」や、「登下校班にそれぞれ何年生が何人いるのか、何時にどれだけの生徒が下校するのかを教えて

## 災害時の電気設備等の復旧のために

# 県電気工業組合と協定

市では、市内で大規模な災害が発生した場合に、災害応急対策及び災害復興対策を円滑に行うため、12月8日(火)、栃木県電気工業組合(吉成孝夫理事長)と「災害時における電気設備等の復旧に関する協定書」を締結しました。



栃木県電気工業組合と締結を交わす。

この締結により、公共施設における電気設備等の復旧活動や電気に関わる事故防止などの支援のほか、市からの要請があった場合は同組合による支援、対応を受けることが可能となります。また、同組合を市が行う防災訓練などに積極的に参加要請す

るものです。訪問には、3年前から消防団女性第2部の団員も参加し、指導にあたっています。訪問先では、高齢者と一緒に住宅用火災警報器の設置状況確認や火元の点検、高齢者の健康状態の確認をしました。また、高齢者が安心して生活できるようにと火災予防を呼びかけました。

## 消防署員・女性消防団員が防火指導 高齢者宅800件を訪問

南那須地区広域行政事務組合消防本部では、1月から3月にかけて、市内のひとり暮らし高齢者の自宅約800件を対象に、防火指導を行っています。

これは、ひとり暮らしの高齢者宅を訪問し、火の取り扱いなどを指導するほか、災害発生時の避難などに支援を要するかを把握するために毎年行われてい

ることで、地域住民が電気の安全な使い方を学ぶ機会が増えるなど、今後、連携強化に向けての展開が期待されています。期限は、平成28年3月末までで随時更新することとしています。



子どもの安全を訴えかけた高久さん。

長、刑事部長を歴任。今市事件では、捜査の陣頭指揮を務めました。講演の中で、「犯人が捕まったから安全というわけではない。これからの事件をいかに食い止めるかが大切」と話し、子どもの安全を訴えかけました。その後

ほしいなど様々な意見が出されました。向田で見守り活動をする荒井清茂さんは、「意見を交換することによって、日頃の問題点を共有することができて良かった」と話していました。



火災警報器の設置状況の確認などをする消防署員と女性消防団員。

## 1月10日は110番の日 正しい利用呼びかける

那須烏山警察署では、1月10日の「110番の日」を前に、8日(金)、市内のスーパーマーケットの駐車場で、110番の正しい利用方法などを地域住民に呼びかけました。これは、地域住民に110番について正しく理解して正しく利用してもらおうと毎年行われている

ものです。当日は、警察や駐在所連絡協議会の会員たちが買い物客に啓発用チラシなどを配布したほか、ここにご保育園の年長組の園児29人が110番のかけ方を学びました。また、こなす姫とからすまるも啓発活動に参加しました。



110番の正しい利用方法などを呼びかける。

明るい年を願って

## 賀詞交歓会開かれる

市、商工会、那須南農業協同組合による毎年恒例の「賀詞交歓会」が、1月8日(金)、風月カンントリー倶楽部で開かれ、行政関係者や各種団体の代表者など140人が参加しました。

交歓会では、主催者を代表して、大谷範雄市長が、「少子高齢化など様々な問題を攻めの姿勢で解決したい。また、教育・医療など充実したまちづくりを目指していきたい」とあいさつ。続いて、佐藤昇市市議会議長、三森文徳県議会議員、宇賀持久男那須烏山警察署長が祝辞を述べました。

また、市長など代表者7人による鏡開きが行われ、明るい年になるように願いました。



鏡開きを行う代表者7人。

## きずなdeサロン

## バルーン教室でスノーマン作り

まちづくりチャレンジプロジェクト事業に取り組む(株)ユーキャンきずなサービスセンターによる、「バルーン教室」が12月19日(土)、那須烏山商工会で開かれ、約20人の地域住民がバルーンアートに挑戦しました。

これは、バルーンアートを学ぶことで、あらゆる活動に役立ててもらおうと、大人向けに初

めて開かれたものです。

当日は、バルーンアート講師の石井啓太さんを迎え、参加者は高さ約90cmのスノーマンづくりに挑戦しました。大小様々なバルーンのパランスをとるのに悪戦苦闘しながらも、ねじってつなぎ合わせたり、パーツを貼ったりしていくと可愛らしいスノーマンが完成しました。



バルーンアートを学ぶ参加者。

同センターの武井令子さんは、「こういった活動を増やし、ボランティアを行う人たちの活動の幅、そして場が広がれば嬉しい」と話していました。

## シリーズ 市の文化財 第58回

市指定史跡

くぼまえこふん  
久保前古墳 (藤田)



荒川左岸の河岸段丘に築造されている古墳(円墳)です。東西約25m、南北約27m、高さ約3m、市内では最大規模の大きさで、保存状態も良好です。未調査のため築造された時期は不明ですが、周囲に他の古墳が存在せず、埴輪が確認できないなどの特徴から、古墳時代終末期頃(約1400年前)だと推定されています。

古墳に葬られた人物は、この地域を統治していた豪族の長であると考えられます。荒川を眼下に望み、四方を見通せる眺望の良い場所から、今でもこの地域を見守り続けているのかも知れません。

## 八溝そば街道 寒ざらしそば仕込みを開始 推進協議会

八溝そば街道推進協議会では、1月7日(木)、秋に収穫したそばの実を冷水にさらし、甘みや風味を引き出す「寒ざらしそば」の仕込みを関係者約30人によって日光市の白滝で行いました。

例年、厳寒のこの時期に行われる同作業。山からわき出た水が滝になっていく場所で、雪と氷の滝つぼに腰までつかりながら作業をします。約1週間後、引き上げ作業が行われ、天日と寒風にさらしその年の寒ざらしそばの実が完成です。

今年も、12日(火)に約3.2トンのそばの実が引き上げられました。また、

2月24日(火)には、同協議会の試食会が行われる予定となっています。



そばの実の引き上げをする関係者たち。

# 中央学院大学の塩谷桂大選手 箱根駅伝 4年連続 出場!



大谷範雄市長を訪問した塩谷選手(左)。

田野倉出身で中央学院大学法学部4年生の塩谷桂大選手が、1月2日(土)・3日(日)に開かれた第92回「東京箱根間往復大学駅伝競走大会」に4年連続で出場しました。

今年も挑んだ戸塚から平塚までの往路3区。2区の選手からタスキを受け取ると9位から5位に順位を上げる区間4位の走りをみせました。同大学の結果は総合9位。見事来年の箱根駅伝のシード権を獲得しました。

塩谷選手は、「区間賞は逃してしまいましたが、やるべきことはやった。悔いは残っていない」と、4年間をふり返りました。

また、4年後のオリンピックも見据え、「東京マラソンや様々な大会で経験を積みたい」と話す塩谷選手。4月からは、富士重工(株)のSUBARU陸上競技部員として新たなスタートを切ります。



# 那須烏山市まちづくり研究会 地域活性化テーマに「地域経済貢献賞」を受賞

「地域経済貢献賞」を受賞した  
市まちづくり研究会の皆さん。



「地域経済貢献賞」を受賞した  
市まちづくり研究会の皆さん。

「観光のまちづくり」をテーマに行なった研究が、11月28日(土)に行われた「第12回学生&企業研究発表会」で「地域経済貢献賞」を受賞し、12月25日(金)、同研究会に参加する足利工業大学の学生と烏山高校の生徒が出席し、市役所烏山庁舎で受賞報告会を行いました。

今回受賞した研究テーマは「JR烏山線を基軸とした地域交流機会の拡大に向けた取り組み」市民ワークショップとラットバス企画の成果を踏まえて。昨年からは、同会では「烏寶線鉄道唱歌」の歌詞

を解明し、それを元にした市内地域資源の発掘について研究を進めました。今年は、昨年の研究成果からさらに一歩踏み込むため、6月から7月にかけて「市民ワークショップ」、8月から9月にかけて「ラットバス」を企画し、参加者に地域理解の深化や地域づくりの参加を促しました。このような、広い年代層の市民を取り込みながら地域活性化に向けて行った活動が評価され、今回の受賞に至りました。

受賞報告会では、昨年度から今年度の取り組みや今後の展望について福島委員長により報告されました。その後、足利工業大学4年の清水亮さんにより、今回受賞した研究テーマが実際に発表され、参加者は真剣に耳を傾けていました。福島委員長は、「新しい発想による情報発信やまちづくりの手法が評価され、今回の賞を受賞したことはとても嬉しく思います」と話していました。

**デマンド交通の登録は済んでいますか？**

デマンド交通は、予約制で利用できる乗り合い公共交通機関です。年齢や運転免許の取得等関係なく、子どもからお年寄りまで誰でも利用することができます。利用するためには、事前登録が必要です。また、乗車を希望する場合は、2週間前から30分前までの間に予約が必要となります。料金は、1回(片道)大人300円、小人150円です。

■登録方法：きずなサービスセンターに申込書を直接または、郵送、FAXで提出するか、市役所総合政策課まで直接提出する。

■問合せ：きずなサービスセンター(金井2-2-11)  
☎0287-82-8252 FAX0287-82-8262  
・総合政策課 ☎0287-83-1112



粉引の作品を手にする川村さん。

## 萬さろんで「川村宏樹展」

### 粉引の魅力伝える

1月9日(土)から16日(土)にかけて、萬さろんで陶芸家の川村宏樹さん(小原沢)による「川村宏樹展」が開かれ、県内外から陶芸愛好家など多くの人が足を運びました。

大田原市出身の川村さんは、益子町の塚本製陶所で陶芸を学び茂木町で独立。平成9年に市内で窯を構え、陶芸を続けています。

作品は、李朝時代の代表的な陶磁の技法「粉引」を中心とし、食器や花瓶、酒器など様々な作品を手がけています。

個展には、独特の柔らかな雰囲気がある作品およそ200点を展示。30年続けた腕前は見事で訪れた人々の目を魅了しました。

川村さんは、「陶芸は奥が深い。粉引をさらに極め、100歳まで自らの手で続けていきたい」と話していました。



積雪(1月18日)。

## まちの話題

◇「広報那須烏山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報統計担当  
☎0287-83-1112

### 神長・滝消防団

## 元日に伝統の出初式

1月1日(金)、神長地区内の江川で神長・滝で組織する市消防団第二分団第一部(横山英介部長)が、毎年恒例の「元日出初式」を行いました。

この出初式を市消防団で元日に行うのは第二分団第一部だけで、30年以上続く伝統行事となっています。

当日は、午前9時半に詰所に集まり、江川を水利としたポンプ車

放水訓練を行いました。その後、地域の自治会長を招いて新年会を開催し、交流を深めました。

横山部長は「今年も部員が一丸となって迅速な訓練をすることができた。これから本格的に寒くなり、火災も増える時期なので、地域の防災にも力を入れたい」と話していました。



放水訓練を行う消防団員。



練習の成果を発揮する児童・生徒たち。

### こども常磐津教室発表会

## 「三味線」「浄瑠璃」6演目を披露

1月24日(土)、山あげ保存会芸能部会による「こども常磐津教室」が山あげ会館で行われ、地域住民約30人が見守る中、子どもたちが日頃の練習の成果を披露しました。

当日は、小学3年生から中学2年生までの児童・生徒8人と保護者2人が参加。三味線による「童謡」や「妖怪ウォッチ」、さらに浄瑠

璃の「月の御殿」や「将門」など6演目で優美な音色を奏でました。

また、シンガールの山田ぶんぶんさんが登場し、「那須烏山市民の歌」を、三味線の音に合わせて披露しました。

なお、この事業は、文化庁の「伝統文化親子教室事業」の助成を受けています。

無病息災・五穀豊穡  
各地でどんど焼き盛んに

## 小高ユキさんが満100歳迎える



「嬉しいです」と話す小高さん。

小高ユキさんが、1月5日(火)、満100歳を迎えました。

現在、市内の介護老人福祉施設で過ごす小高さんの長寿の秘訣は、「いつも自然体でいること」。誕生日の当日には、大谷範雄市長から祝辞が述べられると、「こんなに長生きするとは思わなかった…」と感激のあまり涙していました。

## なすから恋活パーティー 9組のカップルが成立!



パーティーの幕開けにあいさつする高田所長。

那須烏山市結婚相談所(高田博所長)では、12月20日(火)、ヴィラ・デ・マリアー・ジュ宇都宮を会場に、「なすから恋活パーティー」を開き、31人の男女が交流しま

した。

この事業は、若者同士の出会いを支援しようと企画・運営を(株)ちぎテレビに委託し、宇都宮市の結婚式場「ヴィラ・デ・マリアー・ジュ宇都宮」で実現したものの。司会には、とちぎテレビで活躍するタレントやアナウンサーが務めました。当日は、デザートビュッフェを楽しみながら交流を深めました。その後行われたカップリング投票では、9組のカップルが誕生。成立したカップルには、南那須観光いちご園のいちご狩りペアチケットや山あげ会館入場券など本市にちなんだ7つの特典が贈られました。

正月の伝統行事「どんど焼き」が1月9日(火)・10日(水)を中心に市内各地で開かれました。

「どんど焼き」は、小正月の行事で、正月の「松飾り」や「しめ縄」などを家々から持ち寄り、一箇所に積み上げて燃やすという日本全国に伝わる正月の火祭り行事です。

また、どんど焼きの火に当たり、焼いた団子を食べれば、その1年間を健康に過ごすことができるな

どの言い伝えもあり、無病息災や五穀豊穡を祈る民間伝統行事でもあります。

近年は、担い手不足や消防法による規制が厳しくなったことから、どんど焼きをする地域が減少。ほとんどの自治会で行われていた本市でも現在は数えるほどとなりました。

広報「那須烏山」では、開催された中から、いくつかの地域を写真で紹介します。



③



①



②



④

①この春、小学校に上がる子どもが火付け役に(高瀬) ②どこに団子をつけようかな～?(福岡) ③やぐらの中は子どもの遊び場(藤田) ④どんど焼きの火で団子を焼く子どもたち(三箇)。

## おめでた

赤ちゃん名 (保護者)住所

五月女 奏心 (貴俊・あゆみ)金井2丁目

櫻井 美月 (克彦・美紀)鴻野山

橋本 柚希 (征彦・美幸)南大和久

高野 創雅 (雅斗・莉愛)中央1丁目

平山 結誠 (至誠・香織)南大和久

蓮見 輝月 (誠・直子)下境

人見 柚稀 (哲央・美雨)南1丁目

齋藤 依依 (健太・茜)小境

高野 彩羽 (健二・寿恵)神長

松本 幸之助 (和明・佑子)中央1丁目

大野 友愛 (博康・由佳)大桶

佐藤 依依 (芳和・理加)下境

齊藤 心咲 (将義・愛未)初音

小西 英伸 (伸明・史美子)中央2丁目

栗野 稟子 (正三・仁美)興野

小林 柊と (佑也・美紀)小倉

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。



にっこりと(成人式より)。



晴れ姿(成人式より)。

### ご寄付ありがとうございます

#### ■ふるさと応援寄付金

- ・中山和夫様(宇都宮市)から2万円が本市に寄付されました。
- ・大喜智明様(大阪府寝屋川市)から5万円が本市に寄付されました。
- ・三森朋子様(東京都世田谷区)から10万円が本市に寄付されました。

- ・黒澤郁弘様(神奈川県横浜市)から5万6千円が本市に寄付されました。
- ・金子隆浩様(下野市)から1万円が本市に寄付されました。
- ・匿名希望者様10人より132万6352円が本市に寄付されました。

#### ■児童福祉事業寄付金

- ・匿名希望者様から6万円が寄付されました。

あなたの声を行政に…

## 広聴箱に意見をお寄せください

市では、市民のみなさんのご意見を行政に反映させるために「広聴箱」を設けています。主要な公共施設に設置する他、市のホームページでも受け付けています。お寄せいただいたご意見・ご要望は、市長が拝見した後、市長からの指示を含め、担当課に回覧し、今後の政策事務等の参考とさせていただきます。

また、回答を希望される場合は、原則として受信日から2週間以内に担当課が責任をもって回答いたします。

#### ■設置場所

市役所烏山庁舎・市役所南那須庁舎・健康福祉センター・烏山公民館

#### ■那須烏山市ホームページ

<http://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/>

※市ホームページの「広聴箱」入力フォームには、上記からお入りください。電子メールで送信する方法です。回答を希望される場合には、電子メールで返信いたします。



なお、詳しくは、市のホームページをご覧ください。総合政策課(☎0287-83-1112)までお問い合わせください。

- 市立図書館児童用図書寄付金
    - ・南那須地区工業者懇話会(中村恵之会長)から6万1千円が寄付されました。
  - 交通安全カーブミラーの寄付
    - ・那須南農業協同組合(山田清組合長)から交通安全カーブミラー2基が寄付されました。なお、このカーブミラーは、大金の南那須中学校正門付近と金井の阿久津医院付近交差点に設置されました。
- ◇
- ※市ではふるさと納税制度による寄付金を「ふるさと応援寄付金」としてお預かりし、寄付者が希望する事業に活用しています。優遇措置など詳しくは、市ホームページをご覧ください。



応援はまかせて!(駅伝大会より)。

## 広告掲載募集中

### ■掲載基準

位置:各ページの最下段(表紙除く)

サイズ:縦4・7cm×横8・4cm

料金:単色 1回5千円

カラー1回1万円(裏表紙)

申込:掲載希望の前月10日まで

詳しくは、総合政策課広報統計担当(☎0287-83-1112)までお問い合わせください。

なお、「広報お知らせ版」への広告掲載や、市公式ホームページへのバナー広告掲載も同時に募集しています。

## 市の人口

2016.1.1現在  
( )対前月比

人口 26,839(-28)

男 13,254 女 13,585

出生 18 死亡 35

転入 58 転出 69

世帯数 9,610

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## 編集後記

○1月の目標「正月太りを解消」。はい、そうです。まんまとこの冬、3キロも増量してしまいました…。冬の外での寒い取材にも対応できるように蓄えました！と明るく言いたいところですが、さすがにショック…。  
○2月初旬には健康診断。これはやばい…と思い、ランニング(2日しかしてないけど)にお菓子禁止(たった2週間だけ)、マッサージ(気が向いたらだけ)をして健康診断に挑みました。  
○その効果は、すこ～しだけあったようですが、驚いたのは身長です。なんと、1年間で8ミリも伸びていたのです！2、3ミリなら誤差かな？と思いますが、大人の8ミリは大きい…。成長期が来たのかも？(笑)  
○それはさておき、この広報紙が発行する頃はバレンタインですね～！男性陣は楽しみなんじゃないですか？今年は何を作ろうか…なあ。味見のしすぎで2月の目標が「デブ解消！！」とかにならないよう気をつけたいと思います(笑)

# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★  
<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

### ●一般図書●

『心の資産を高める生き方』加藤 諦三  
『ころのおまもり』小池 龍之介  
『老いた親を愛せますか?』岸見 一郎  
『日本は本当に戦争する国になるのか?』

池上 彰

『おいしい!カンタン!玄米ごはん』石澤 清美  
『真実の10メートル手前』米澤 穂信  
『はだれ雪』葉室 麟  
『たんぽぽ団地』重松 清  
『逆島断雄と進駐官養成高校の決闘』石田 衣良  
『演じられた花嫁』赤川 次郎

### ●児童図書●

『にっぽんのおやつ』白央 篤司  
『モンスター大百科』宮本 幸枝  
『和算って、なあに?』小寺 裕  
『さみの体の中』リチャード ウォーカー  
『ほっぺちゃん』名取 なずな

『タンポポの金メダル』山本 早苗  
『げんこつげんたろうくすのき しげのり』  
『はるののはら』竹下 文子  
『ぞうさん、どこにいるの?』バルー  
『カメカメカメラ』もろ かおり

### ●DVD●

『ソロモンの偽証 前編・後編』成島出 監督  
『ふしぎな岬の物語』成島出 監督  
『マエストロ!』小林聖太郎 監督  
『偉大なる、しゅららぼん』水落豊 監督  
『アイアンマン』ジョン・ファヴロー 監督  
『幸せへのキセキ』キャメロン・クロウ 監督  
『大統領の執事の涙』リー・ダニエルズ 監督  
『赤ずきん』キャサリン・ハードウィック 監督  
『わすれた森のヒナタ おじやる丸 スペシャル』大地丙太郎 監督  
『DRAGONBALL Z 復活の「F」』山室直儀 監督

## 川柳

篠崎 酔月 選

どことなく足がふらつく去年今年

川俣登志子(旭)

仕方なく手が目をつぶる子守歌

森 豊(中山)

雀郎の教えいまだに生き続け

関 元氣(小塩)

ストレスがとれた馬券の紙吹雪

白寄 多美(金井)

## 俳句

齋藤 穂 選

見て聞いて話して申の年の計

中村佳常代(田野倉)

息災を初日に祈る一家族

須田 孝子(城東)

ずっしりと新年号の付録かな

高徳 美井(大金)

雪嵐川辺の草の吹さらし

伊藤 博志(田野倉)

## 文芸

### 短歌

福澤 悦子 選

禍のなき世であれと手を合わす

柳 つしま(中央)

雲神社はあらたまの春

柳 つしま(中央)

起きぬけに窓を開ければ庭の木に花

矢口 玄鳥(大金)

咲くごとく初雪降り

矢口 玄鳥(大金)

語り部の語りにはばし引き込まれ

安藤 伯麗(旭)

昔々の世界に入りぬ

安藤 伯麗(旭)

無造作に生けし水仙の葉のたわみ艶

吉澤 紅月(南)

めく曲線春は目の前

吉澤 紅月(南)

### 作品募集

毎月10日までに、総合政策課広報統計担当  
〒321-1069 那須烏山市中央1丁目1  
番1号 あて 郵送で作品をご応募ください。



# 南那須観光いちご園が オープンしました

藤田のふじた体験むら内にある南那須観光いちご園が、1月4日(月)にオープンしました。

しょうか。

同じ「園では、「とちおとめ」と「とちひめ」のいちご狩り体験を楽しむことができます。特に「とちひめ」は、果肉がやわらかく、いちご狩りや直売向きの品種です。

スーパーマーケットなどではあまり手に入れることができないというところで、これを目当てに来る観光客も少なくないとか。今年の出来栄えは、両種とも良好で、甘いと好評を博しています。

5月頃まで開園していますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



▲いちご狩りを楽しむ親子。  
▶真っ赤に色づいたいちご。



【問合せ】  
■ふじた体験むら内南那須観光いちご園 ☎0287-88-0002

※毎週水曜日が定休日です。

【受付開園時間】

■午前10時～午後3時

◆  
■30分食べ放題(とちおとめ25分/とちひめ5分)  
・中学生以上1300円  
・中学生以下1000円  
※3月以降は料金に変動があるため、市ホームページなどで確認してください。

## ——— どんど焼きより ———

各地で行われたどんど焼き。記事には載せきれなかった写真をここで紹介します。



有料広告

### ナスカラ市場

おかげさまで多数の注文を頂いている「烏山山あげ牛」ご家庭用できました!!  
ナスカラ市場で店頭販売中!

リブ・ロースステーキ 3,500円(税別)

烏山山あげ牛 3,500円(税別)

大金駅前観光交流施設「ナスカラ市場」 栃木県那須烏山市大金155-4 ☎0120-83-1147

## 国見星望会冬の天体観望会

国見星望会(阿久津富夫会長)による「冬の天体観望会」が1月16日(土)、長峰ビジターセンターで開かれました。

当日は、湿度の低いからととした寒い日で絶好の天体観望日和。同センターに設置してある大型望遠鏡をのぞくと、スバルやオリオン座大星雲など様々な星が見られました。肉眼では見ることができない星もはっきりと見え、望遠鏡をのぞきこんだ参加者は、無数に見える星に驚きと感動の声をあげていました。

親子で訪れた烏山小2年の岡崎晴彦さん(神長は、「月の表面がボコボコしているとは思っていなかった。今度は他の星も見てみたい」と目を輝かせながら話していました。



▲望遠鏡をのぞく親子。  
▶当日見えた月。